

平成26年度の研究について(改定版)

新浜小学校 研究推進部

◇ 研究主題について

自ら健康な身体づくりができる子どもの育成 —学び合いを生かした体育学習指導を通して—

(1) 研究目標

学び合いを生かした体育科学習指導を通して、自ら健康な身体づくり(運動習慣づくり)ができる子どもの育成を目指した学習活動の在り方を究明する。

(2) 主題に対する考え方

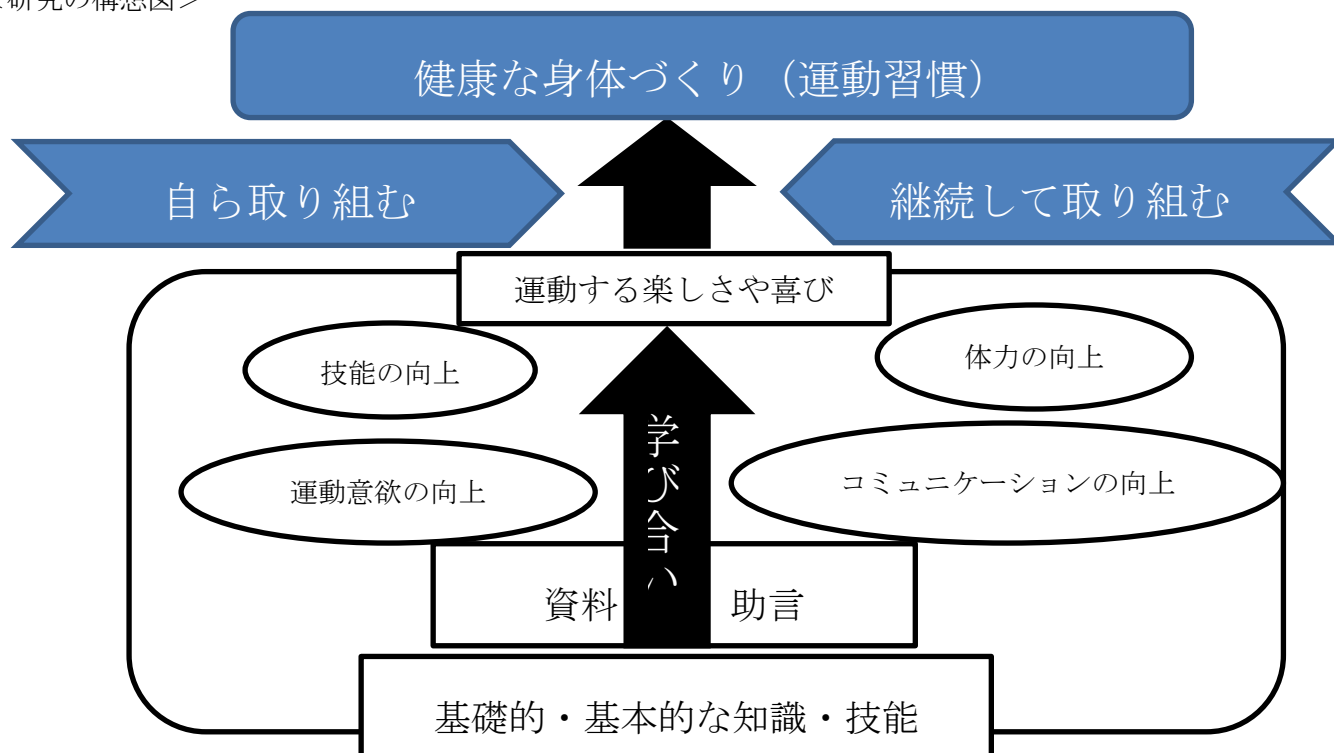
「学び合い」とは、児童が身に付けた基礎的・基本的な知識(思考・判断)や技能、学習資料などを活用しながら教え合って、学習課題を解決していこうとする児童の姿として捉えることとした。

【児童の具体的な姿】 学習指導要領から抜粋

		低学年	中学年	高学年
ボール運動 (ゴール型)	基礎・基本的な技能	○簡単なボール操作 ボールをつく。 転がす。 投げる。 当てる。 捕る。 蹴る。 止める。 ○動き方を知り、攻め方を見つける。 知識(思考・判断)	○基本的なボール操作 (味方にボールを手渡したり、パスを出したりすること。) ○ボールを持たない時の動き (ボール保持者と自分の間に守備がないように移動する。) ○ゲームの特徴に合った攻め方を知り、簡単な作戦を立てること。 知識(思考・判断)	○ボール操作 (近くにいるフリーの味方にパスを出すこと。) (相手にとられない位置でドリブルをすること。) ○ボールを受けるための動き (ボール保持者と自分と間に守備を入れないように立つ。) (得点しやすい場所に移動) ○チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てること。 知識(思考・判断)
	学び合い	○基礎的・基本的な技能をもとに、友だちのよい動き(投げ方や受け取り方のポイント)に気付き、まねしようとしている。	○新しい技やこれまでの経験をもとに、よい動き(投げ方や受け取り方のポイント)を見付け、改善している(課題を選ぶ)。 ○ゲームの特徴に合った攻め方を知り、簡単な作戦を立てる。	○習得した新しい知識や経験をもとに、課題解決の方法を選んだり工夫したりしている。 ○チームの特徴に応じた攻め方を知り、自分のチームの特徴に応じた作戦を立てる。

マット運動	基礎・基本的な技能	<p>(マットに背中や腹などを順番に接触して、いろいろな方向に転がる)</p> <p>↓</p> <p>回る感覚をつかむ。</p> <p>(手や背中で体を支えているいろいろな逆立ちをする)</p> <p>↓</p> <p>腕支持力をつける。</p> <p>○運動遊びの行い方を知る。 知識(思考・判断)</p>	<p>○基本的な回転技や倒立技に取り組み、自己の能力に適した技ができるようにする。</p> <p>回転系 (前転、後転)</p> <p>倒立系 (壁倒立、腕立て横跳び越し)</p> <p>○回転系や倒立系のポイントを知る。練習方法を知る。 知識(思考・判断)</p>	<p>○基本的な回転技や倒立技に安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりする。</p> <p>回転系 (大きな前転、開脚前転、開脚後転)</p> <p>倒立系 (補助倒立、頭倒立、ブリッジ、側方倒立回転) (技の組み合わせ方)</p> <p>○回転系や倒立系のポイントを知る。技のつなぎ方を知る。 知識(思考・判断)</p>
	学び合い	○基礎・基本的な技能をもとに友だちのよい動き(技のポイント)に気付き、まねをしようとしている。	○新しい技やこれまでの経験をもとに、よい動き(回転系・倒立系の技のポイント)を見付け、改善している(課題を選ぶ)。	○習得した技や経験をもとに、課題解決の方法を選んだり工夫したりしている。

<研究の構想図>



(3) 研究仮説

<仮説>

体育科の学習指導において、(ア)基礎的・基本的な知識（思考・判断）・技能を習得させ、(イ)学び合う学習を工夫すれば、児童が運動の楽しさを味わい、運動に親しみ継続して取り組もうとする健康な身体づくり（運動習慣）が身に付くであろう。

(ア)基礎的・基本的な知識（思考・判断）・技能を習得させる。

○指導要領、年間計画、系統性をおさえたうえで、単元計画を作成する。

児童の発達段階に合わせた指導目標や内容を低、中、高に分け明らかにし、指導案に書き入れる。

○運動の特性に応じた内容を取り上げ、児童が楽しさや喜びを感じることができるようにする。

○1単位授業の流れの工夫をする。

例えば、主運動につなげる予備的な運動⇒学習課題の設定（認識）

⇒主運動として課題解決のための学び合いや活用する方法や活動⇒評価とまとめ

(イ)学び合う学習を工夫をする。

○場の工夫をする。

○教師の言葉かけ

○学習カード

○動きの言語化

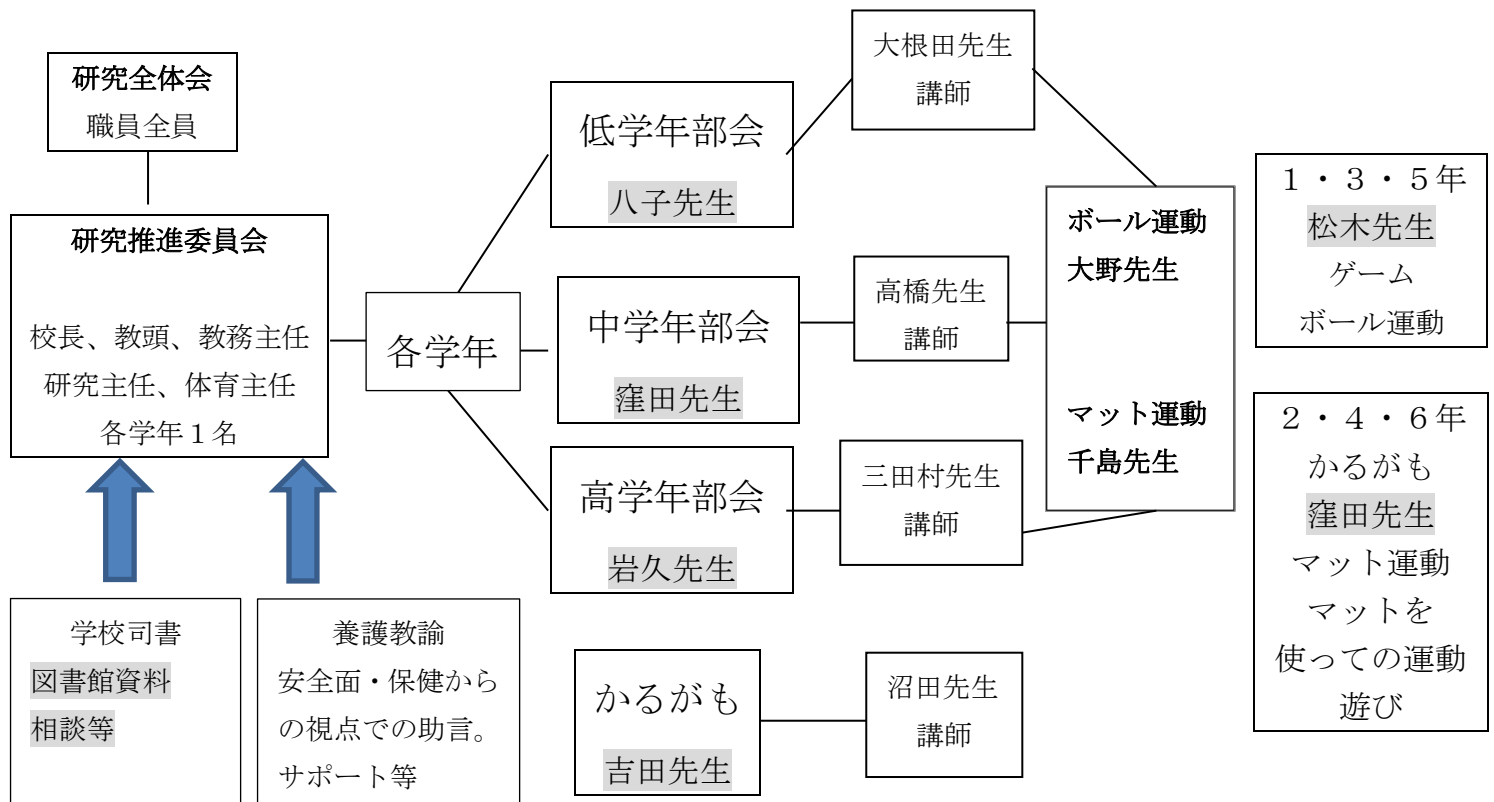
(4) 研究推進体制

指導案検討

研修授業

授業研究

協議会



(5) 平成26年度の研究の見通し

4月	<p>4日(金)○研究推進委員会 研究計画の作成(研究主任他)</p> <p>9日(水)○研究全体会 今年度の研究の見通し 各学年研究単元の検討, 決定</p>
5月～6月	<p>○研究推進部委員会 会議(見通し) 5/30(金)</p> <p>○6/2(月) 研究全体会 今年度の見通し</p> <p>○4・6年生 指導案検討会(学年会で行う)</p> <p>○中学年・高学年指導案検討会(学年会行う)</p>
6月～ 7月	<p>○4・6年生 研修授業を行う (日程を早めに決める)</p> <p>○研究授業展開 (マツ運動)</p> <p>4年生: 窪田先生 7月7日(月) 講師 千島先生</p> <p>6年生: 岩久先生</p> <p>授業後の協議会(2・4・6年グループで行う)</p>
7月～ 9月	<p>○2・5年生 指導案検討会(学年会で行う)</p> <p>○低学年・高学年指導案検討会(学年会か9/17の研究日に行う)</p> <p>○研究推進部委員会 会議(進行状況) 日程は後日連絡</p>
9月～ 10月	<p>○2・5年生 研修授業を行う (日程を早めに決める)</p> <p>○研究授業展開(2年生:マツを使つての運動遊び 5年生:ボール運動)</p> <p>2年生: 松本悟先生 10月27日(月) 講師 千島先生</p> <p>5年生: 池上 10月20日(月) 講師 大野先生</p> <p>授業後の協議会(2・4・6年グループ 1・3・5年グループで行う)</p>
10月～ 11月	<p>○1・3年生 指導案検討会(学年会で行う)</p> <p>○低学年・中学年指導案検討会(学年会か10/15の研究日に行う)</p>
11月～ 12月	<p>○1・3年生 研修授業を行う (日程を早めに決める)</p> <p>○研究授業展開(ゲーム)</p> <p>1年生: 八子先生 12月10日(水) 講師 大野先生</p> <p>3年生: 松木先生</p> <p>授業後の協議会(1・3・5年グループで行う)</p> <p>○研究推進部委員会 会議(進行状況) 日程は後日連絡</p>
1, 2月	<p>○今年度の反省と次年度研究の方向性を部会ごとに検討(1/19の研究日)</p> <p>○研究紀要完成(2/2の研究日に綴じこみ)</p>
3月	<p>○研究推進委員会(次年度への見通し)</p> <p>○研究のまとめ(職員会議)</p>